



2021JR総連春闘勝利！ シリーズ⑪

社員をもっと大事にせよ！ 不誠実な回答に終始する会社！ 2021春闘 第2回団体交渉

本部は本日、2021年度賃金引き上げ、夏季手当及び諸要求の申し入れについての第2回団体交渉を開催し、会社は申し入れに対する回答を示しました。

回答は「そのような考えはない」のオンパレードで、現場で苦勞している社員のことすら何ら考えていないものでした。特に、コロナ禍で感染リスクに晒されながら業務を遂行している社員に対する慰勞金や、住宅ローン返済で困っている社員への無利子貸付については、会社はまるで他人事のように考えているのです。改訂新人事・賃金制度の改善要求についても、社員の意に反するものでした。

会社は2月22日に通期業績予想の下方修正を発表しました。春闘で労働者が闘っている最中の発表です。まさに、賃上げや夏季手当などを低額に抑え込むためには、会社にとっては都合の良いタイミングです。

コロナ禍で会社の業績が悪化でも、リニア建設を中止しないということは労働者に支払う資金があるという証左です。本部は、今春闘の団体交渉で更に会社の矛盾点を明らかにし、満額回答を目指して闘います。

※詳細は『業務速報』No.1247を参照して下さい。

第3回団体交渉は3月5日（金）に開催します。